

第5回 MSCT/ADCT デスク 参加報告

勤医協中央病院 船山和光

2018年12月15日に東京国際フォーラムで開かれた、MSCT/ADCT デスク（以下デスク）に参加しましたので、その内容を報告します。

デスクとは何か皆様ご存知でしょうか？

デスクというのは、簡単に言うと、各地域のキヤノン CT ユーザー一会在、キヤノン CT に対する皆様のご意見や不満を吸い上げ、キヤノン CT 開発者にぶつけ、回答をいただくという会議です。

もちろん全ての意見を取り上げることはできませんが、比較的要望の多い事案をセレクトして議論しています。

今回の会議は、現在キヤノンが取り組んでいる（開発している）ことについての報告がメインでした。

以下に、報告内容をご紹介します。

・ Dual Energy CT について

現在改良を進めているとのことですが、詳細についての報告はありませんでした。

・ AiCE について

Deep learning を用いた CT 画像再構成技術のことですが、その紹介がありました。今後は適応部位を増やしていくとのことでした。

・ ワークフローの自動化について

CT 検査に関わる一連の流れを自動化することを考えているようです。

自動化されて操作が簡略化されることを歓迎する意見がある一方、技師の技術力が低下するとの意見もありました。しかし、技術が進めばそういう側面があるのは致し方ないことではないかと思えます。

また、オートが上手くいかなかった場合、スムーズにキャンセルや手動での設定に切り替えられる機能が必要との意見がありました。スキャノ撮影前の位置決めも自動でできないかとの意見もありました。

・ CT 透視の操作性

寝台の移動を、ダイヤル？つまみ？を回して行う方式に変更したいと報告がありました。回す量でスピードが変わったりするようです。私は良いと思ったのですが、参加者の評判はあまり良くなかったような感じでした。今後、どうなるでしょうか？

参加者からは、フットスイッチでの操作や、音声での操作などのアイデアが出されました。

- ・小児用固定具の開発

プロトタイプが出されました。小児撮影が多い施設からたくさんの意見が出されました。

5回目を迎えたこの会議ですが、意見を吸い上げて開発された技術もあるようですが、その多くは新しいバージョンに採用されているようで、全てのユーザーに恩恵がいきわたっている訳ではないと思います。しかし、今後自施設が装置更新の時に、より良い製品が完成していることを夢見て、多くの意見を上げていきましょう。